

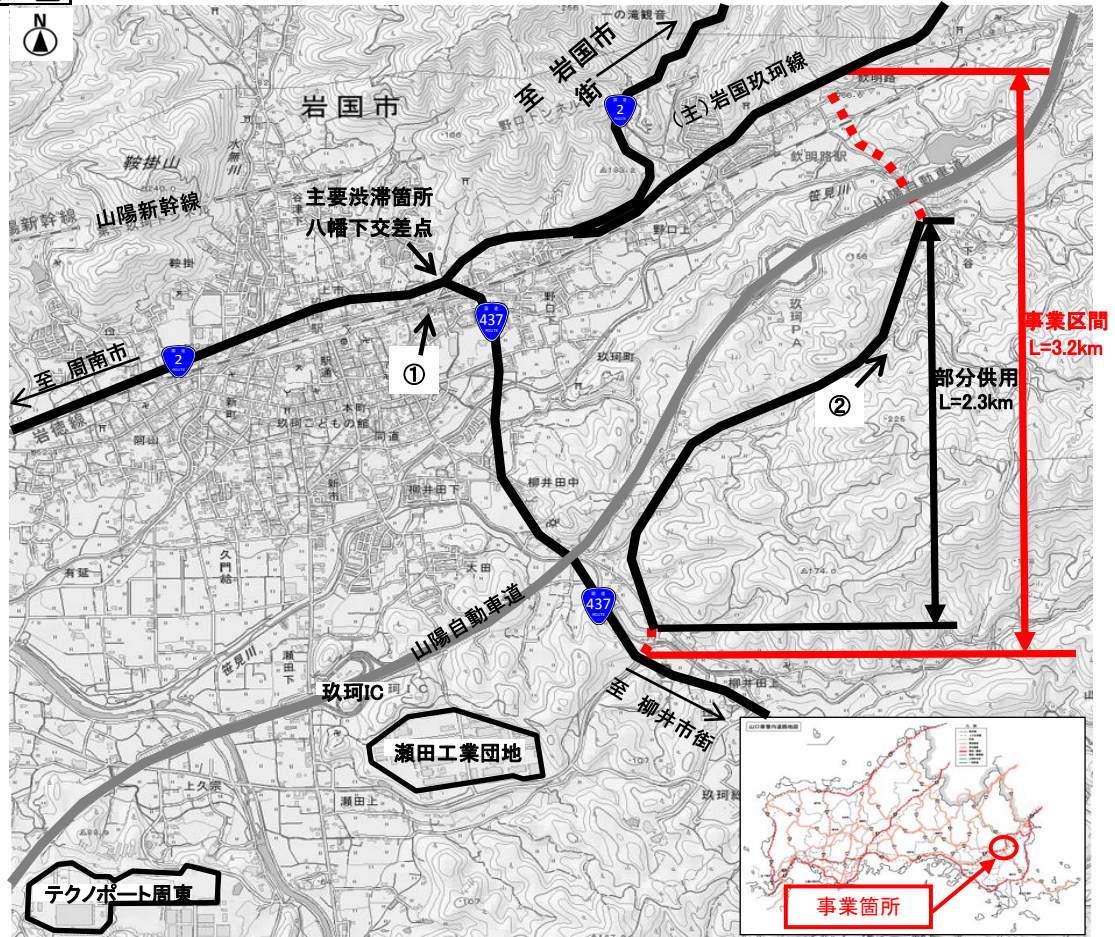
再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事業 概要	事業名	主要地方道 ^{いわくに} 岩国玖珂線 道路改築事業					
	事業場所	岩国市玖珂町 ^{きんめいじ} 欽明路 ~ 岩国市玖珂町 ^{やないだ} 柳井田上					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《前回評価 平成 26 年時》 平成 12 年度 ~ 令和 6 年度 《令和 元 年度》 (西暦 2000 年度 ~ 西暦 2024 年度 《西暦 2019 年度》)					
	総事業費 (内用地補償費)	≪ 6,530 百万円 ≫ 6,530 百万円 (2,217 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	5,464 百万円 (2,207 百万円)	進捗率 (用地補償費)	84 % (99.0 %)	
	事業目的	<p>主要地方道岩国玖珂線は、岩国市を起点とし、岩国市玖珂町柳井田で国道2号に接続する幹線道路であるとともに、岩国市街地と、工業拠点である瀬田工業団地等とを連絡する重要な道路である。</p> <p>しかしながら、当該区間に並行する国道2号や周辺道路では、主要渋滞箇所である「八幡下交差点」を中心に慢性的な渋滞が発生しており、円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、市街地の連絡を強化し、物流の効率化を図るものである。</p>					
事業内容	<p>○延長 L=3.2 km (バイパス整備)</p> <p>○幅員 全幅 11.0m (車道 3.25×2=6.5m、歩道 2.5m (片側))</p> <p>○道路区分 第3種第2級</p> <p>○計画交通量 7,100台/日</p>						
事業効果	<p>○岩国市玖珂町と岩国市街地との移動時間が40分から36分になるなど、地域間の移動時間が4分短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化により地域産業の活性化が期待できる。 ・岩国市玖珂町から三次緊急医療機関(岩国医療センター)への搬送時間短縮により、救命率の向上に寄与する。 <p>○周辺道路の渋滞緩和により、円滑な交通が確保される。</p>						
2 再評価の 視点	(1) 社会経済情勢の変化	<p>平成24年に、山口県道路交通渋滞対策部会において、国道2号『八幡下交差点』や同市玖珂町の『同道交差点(東)』が主要渋滞箇所として選定されており、現在も解除されていないことから、当該道路の整備の必要性は依然として高い。</p>				中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当該道路は、「新市建設計画(平成18年度から令和2年度)」に整備を促進する道路として位置付けられているとともに、毎年、地元自治体である岩国市から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は事業に協力的であり、事業の推進にあたっては協力体制が整っている。</p>				中項目 評価	A B C

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H26)</th> <th colspan="2">今回(再評価・再々評価) (基準年：H31)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>11,537</td> <td>17,339</td> <td>7,051</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行費用短縮便益</td> <td>817</td> <td>554</td> <td>499</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>624</td> <td>24</td> <td>86</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>12,978</td> <td>17,917</td> <td>7,636</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>7,393</td> <td>9,299</td> <td>868</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>195</td> <td>576</td> <td>132</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>7,588</td> <td>9,875</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>7.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>前回評価：「費用便益分析マニュアル」(H20.11) 基準年：H26 平成17年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量 今回評価：「費用便益分析マニュアル」(H30.2) 基準年：H31 平成22年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量</p>	区分	主な項目	前回 (基準年：H26)	今回(再評価・再々評価) (基準年：H31)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	11,537	17,339	7,051		②走行費用短縮便益	817	554	499		③交通事故減少便益	624	24	86		④その他の便益					総便益	12,978	17,917	7,636		費用 (C)	①事業費	7,393	9,299	868		②維持管理費	195	576	132		③その他					総費用	7,588	9,875	1,000		費用便益比(B/C)		1.7	1.8	7.6		大項目評価 A・B・C
	区分	主な項目	前回 (基準年：H26)			今回(再評価・再々評価) (基準年：H31)		備考																																																										
			全体事業	全体事業	残事業																																																													
	便益 (B)	①走行時間短縮便益	11,537	17,339	7,051																																																													
②走行費用短縮便益		817	554	499																																																														
③交通事故減少便益		624	24	86																																																														
④その他の便益																																																																		
総便益		12,978	17,917	7,636																																																														
費用 (C)	①事業費	7,393	9,299	868																																																														
	②維持管理費	195	576	132																																																														
	③その他																																																																	
	総費用	7,588	9,875	1,000																																																														
費用便益比(B/C)		1.7	1.8	7.6																																																														
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>事業区間3.2kmのうち、市道柳井田24号線より北側2.3kmが平成30年2月に部分供用したことにより、安全で円滑な交通が確保された。 用地補償については概ね完了しており、事業実施における阻害要因はなく、今後計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続きバイパス整備を進める。</p> <p>【事業費の変化】 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 無</p> <p>用地補償の遅延や、関係機関との調整に時間を要したため、事業期間を令和6年度まで延伸する。</p>	大項目評価 A・B・C																																																															
	(4) 代替案等の可能性	<p>コスト縮減 橋梁形式にPC少数主桁形式を採用しコストの縮減を図っている。</p> <p>代替案 利便性、経済性、施工性を総合的に勘案し、最適なルートを選定していることから、計画どおり進めることとする。</p>	<table border="1"> <tr> <td>中項目評価</td> <td>大項目評価</td> </tr> <tr> <td>a・b</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C</td> </tr> </table>	中項目評価	大項目評価	a・b	A		B		C																																																							
中項目評価	大項目評価																																																																	
a・b	A																																																																	
	B																																																																	
	C																																																																	
3 環境	配慮事項	・河川に近接する工事での濁水の対策として、沈砂池や濁水処理フィルター等を設置する。																																																																
4 対応方針	(事業実施主体案)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																															
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																																
	備考																																																																	

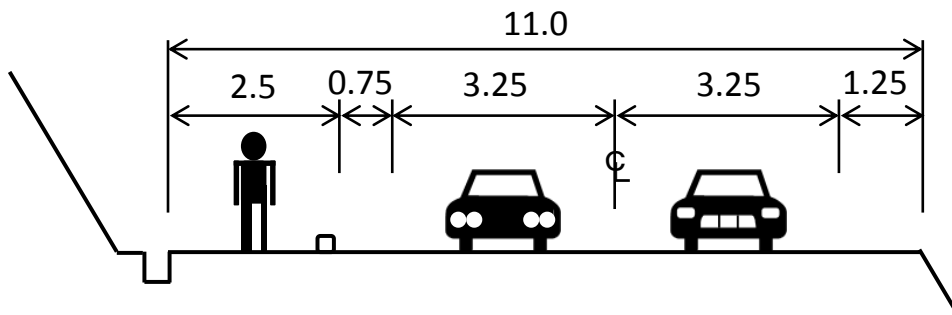
主要地方道 岩国玖珂線 道路改築事業

平面図



※この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真



① 八幡下交差点付近の渋滞状況



② 部分供用区間の状況